

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名:			公益財団法人 熊本県立劇場																			・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																		
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																				
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・熊本県立劇場条例および関係法令を遵守。当劇場の指定管理者として事業計画書に則り劇場の運営にあたっている。 ・管理運営に当たっての基本方針を明文化し、ホームページに掲載。全職員へ説明し、共有している。 ・基本方針をもとに、各グループ毎に年間計画と目標を立て、PDCAサイクルに沿って運用している。								8	9										17																		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守が明言された規程とマニュアルがあり、全職員がいつでも閲覧できる状態にしている。 ・財団処務規定や会計規程等に基づき決裁時にチェックされ、遵守する体制・仕組みが構築されている。																	16																				
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・財団会計規程、一般競争入札当事務処理要領等に則り、適正に取引を行っている。 ・入札結果についてもホームページに掲載。 ・規程とマニュアルに明文化されている。																	16																				
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・法人運営および各事業の重点項目に対応するプロジェクトチームや委員会等を設置、責任者および担当者を任命している。 ・【予定】SDGs推進プロジェクトチームを2025年4月までに発足し、チームで連携してSDGsへの取り組みを強化する。																	16																				
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・著作物の取り扱いは、慎重に行い確認を徹底している。 ・知的財産等に関する研修会を定期的に実施している。								8.2 8.3	9								16																				
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報保護規程、特定個人情報管理規程のほかマニュアルを整備、明文化している。 ・定期的に研修会を実施し、情報漏洩防止の重要性を全職員で共有している。																	16																				
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・各事業毎のアンケートや館内、ホームページに問合せの窓口を設け、意見を聴取し、その対応に努めている。 ・関係機関との連携協定を結び、連携強化を進めている。																	16	17																			
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17																				
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・財団既存の危機管理マニュアルを、専門家等に意見を聴取し2024年7月に改訂。地震や台風といった災害、感染症対策や事業(公演)中止への対応について精査し、事業継続計画のブラッシュアップを図る。 ・全職員参加の消防訓練、地震訓練を定期的に行っている。										9		11		13.1			16	17																			
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・人事異動や事務分掌の変更を行うことで、すべての業務を経験し習得できる体制を整えている。								8	9									17																			
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17																				

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名:			公益財団法人 熊本県立劇場																			基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																		
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																				
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営となっている。 ・差別や各種ハラスメントの禁止について、規程とマニュアルがあり、明文化されている。 ・差別やハラスメントに関する相談窓口を設置し、報告があれば直ちに委員会で検討し、対応を行う準備がある。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7																				
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・衛生推進者を任命し、作業環境の点検、報告を行っている。 ・安全管理マニュアル、危機管理マニュアルを整備している。 ・主催者と事前打ち合わせを行い、緊急事態における対応措置に取り組んでいる。 ・グループ長には職長・安全衛生責任者教育の講習を受講させている。			3					8.8																													
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・職員(正規、契約、嘱託、臨時、派遣)の公正な待遇を行うため、社会状況を鑑みそれぞれの規程を改正している。 ・従前の人事考課制度(平成15年施行)を改訂し、令和2年度から「人事評価制度」を導入。公正な評価を引き続き行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3																											
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理徹底を行っている。 ・有給休暇などの取得奨励を実施し、災害ボランティア活動には特別休暇を付与し積極的参画の環境を整えている。 ・永年勤続者は表彰するとともに、リフレッシュ休暇を特別休暇で付与する規程を整えている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3																											
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・毎年、法人内で職員研修を計画的に実施している。 ・必要経費を支給し、外部研修の受講の機会を設けている。				4	5.5			8	9																												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。 ・こころの健康づくりに留意し、メンタルヘルス研修を行うほか、必要があれば外部の専門家によるセルフケアを行っている。			3					8										17																			
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進、昇格等に人種、性別等の違いによる差別的待遇はない。 ・定年後再雇用制度を設けている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							16.7																				
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・時差出勤、在宅勤務(テレワーク等)を導入し、新しい働き方に対する労務管理体制を整備している。 ・機器や回線環境を整備し、ウェブ会議用の部屋を設け利用を推進している。			3					8	9.1		11	12																									
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・施設利用等の申請をメールで行えるように電子申請の仕組みを導入した。 ・PCやモバイルWi-Fiルーター等のIT投資により、職員が在宅勤務(テレワーク等)を行えるように整備した。								8	9.1		11	12																									
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12																									

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・県の認可を受けた産廃業者と契約し、廃棄物等に関して適切な管理及び処理を行う体制をとっている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電力、水道、ガス等の使用量はすべて表にまとめ把握し、その削減に取り組んでいる。 ・照明のLED化を推進している。 ・クールビズ、ウォームビズを取り入れ、事務所内の温度を夏期28℃、冬期20℃に設定している。							7.3					13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・毎年熊本県へ調査(省エネ・省資源調査、電気及び都市ガス使用量確認調査)で報告する際に、内容を把握し、排出抑制に取り組んでいる。 ・照明のLED化を推進している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・敷地内の多数の樹木や植栽を管理することで、生物の生息、生育地の維持に配慮している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生用紙の利用を推進している。 ・ペーパーレス化、裏紙や使用済み封筒の利用を促進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「汚水等の適切な処理」等を実施している。 ・市水と地下水を使い分けしている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙の利用を推進している。 ・グリーン調達について、環境負荷ができるだけ小さいものを購入するよう取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・敷地内の多数の樹木や植栽の保全、管理を行っている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・公用自転車を導入し、環境に配慮した交通手段を推進している。 ・県外への出張等は、原則公共交通機関の利用を徹底し、環境に配慮している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・来館者に対して公共交通機関の利用促進や、駐車場内でのアイドリングストップを呼びかけている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 公益財団法人 熊本県立劇場			・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																		
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・文化事業後に鑑賞者へアンケートを行い、結果について把握し、改善に努めている。 ・外部委員による文化事業評価委員会を設置し、事業の品質を確保する仕組みを構築している。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・施設案内にユニバーサルデザインを取り入れている。 ・高齢者や視覚障がい者疑似体験等の研修を行い、接遇の向上に取り組んでいる。 ・文化事業において障がいのある人も舞台芸術に触れる機会を提供している。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・熊本県にゆかりのあるアーティストを登録・協力アーティストとして選定し、県内の小中学校等へ演奏家を派遣するアウトリーチ事業を行っている。 ・ケータリングなどには、可能な限り地元企業や県産品などを提供している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・主催事業において、25歳以下の学生料金を設定。経済状況にかかわらず、子どもたちが質の高い実演芸術に触れる機会を提供している。 ・様々な専門性をもつ団体と連携し事業を強化している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・被災地での公演にも積極的に取り組んでいる。 ・テロ対策訓練等、地域の防災活動に参画している。 ・県の文化振興の拠点となるための施設の安全環境を確保した維持管理を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・定期的に避難訓練を行っている。 ・事業継続計画(BCP)を定期的に改定している。 ・職員に甲種防火管理者講習を受講させ、資格の取得を推進している。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・館内に3台AED(自動体外式除細動器)を設置し、救急救命訓練を実施している。 ・避難者を受け入れる準備をし、自治体からの緊急の要請に応じて避難所として場所を提供している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・SDGsロゴマークが入ったPOPを館内デジタルサイネージに掲載し、普及啓発に努めている。 ・あらゆる人々が、文化芸術を鑑賞し、発表するための環境を整え、幅広い世代に向けた多様な芸術作品を創造し鑑賞する機会を提供している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・中学生や高校生の職場体験、大学生のインターンシップを積極的に受け入れている。				4					8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4					8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。